

## 第2回ハイキング 奥多摩・高水三山

第1支部 ㈱乾 商 会(千代田)

幹事 乾 洋介

平成11年12月23日(祝日) 快晴

中央線立川駅から青梅線に乗り換えて軍畑駅に集合。これは“いくさばた”と読みます。前回第一回の丹沢大山ハイキングは、きつい石段や急な山道を登らされたせい、前回参加者の欠席が目立ちました。

前回の生き残り、井上塗料の小野寺さん・東邦化成の磯部さん・小生、それと初参加の堀切塗料商会の長田さん、紅一点・上田㈱の原さんの奥様(ご主人は我々が下山後合流され、一緒にビールを鯨飲されました)の5人が今回のメンバーです。

高水三山は奥多摩山地の前衛にあたり、800Mに満たない三つの山からなり、手頃なハイキングコースとして人気のあるルートです。師走も終わりに近づく当日は、快晴ながらもかなりの冷え込みに白い息を吐きながらの出発です。最初の頂上の手前に高水山常福院という真言宗の名刹があり、このすぐ上が高山山でここまで約一時間半の行程です。今回はみな健脚ぞろいで、歩きながらの他愛もない会話にも余裕がありました。

前回の大山と違い、比較的楽な尾根歩きのため、全員予定通りに二つ目のピークの岩茸石山(いわたけいしやま)に到着。この頂上は見晴らしもよく大休止とする。磯部さん持参のコンロでお茶を沸かし、軽い食事をとる。あまりに順調なので参加者から、「これじゃ体力あまっちゃうね」などと言われかねず、次回は青色吐息になるほどのサービス満点の企画も考えなくてはなりません。また緩やかな尾根を行くと、三つ目の頂上の惣岳山(そうがくやま)に到着。ここからあとは下るだけ。冬の陽だまりの中を、かっとび五人組は舞い降りるように下山しました。

下りたところは御嶽駅の近くの蕎麦屋の前というのが、この同好会の企画の良さです。待ち受ける原さんのご主人とも合流し、幹事の磯部さんが下見までした「玉川屋」というこの蕎麦屋に入りました。さあ、ここからが本番です。ビールで乾杯し、山のつまみと蕎麦焼酎の蕎麦湯割で今日一日の話も弾みます。

初参加の長田さんは昔、山登りをされていたとかで、なかなかの健脚です。二回目の小野寺さんは今回、靴とズボン了新調され、あと十年は使えそうで

す。原夫人は普段の山では見かけないほどの美人です。全国の山や奥多摩の山々もかなり登られているとのことで、今後参加される方の指南役に最適です。ちなみにご主人は歩くのが好きでないとのこと。

清廉な大気を胸一杯に吸い、汗を流し、冷えたビールを飲む。こんな楽しい一日を過ごしたメンバーの皆様に感謝いたします。歩行時間約4時間の高水三山の日でした。